

専門教育科目

講義科目

授業科目名	チームマネジメント	科目コード	配当年次	単位
担当教員	北山 勝英	EK19	3・4	2
<b>科目の概要</b>				
<p>生産性向上のキーワードとされている心理的安全性に対する考え方を理解する。日本の企業はバブル崩壊以後、長らく世界の他の先進国と比較して、生産性の低い状態が続いている。その原因としては、提供している製品サービスのあり方や、生み出し方の改革がなされていないことが考えられる。時代の先を行く改革を企業が生み出すには、そこで働く人の集合知が求められる。その集合知を生み出す際に必要なのが組織の心理的安全性である。</p> <p>本科目では心理的安全性を高めるための方法や事例を、チーム作りの観点や時間の使い方の観点など様々な切り口で学習する。</p>				
<b>科目の到達目標</b>				
<p>①生産性の高いチームの特性と心理的安全性の高さとの関係を理解できる。</p> <p>②心理的安全性を高めていくためのルールのあり方を理解できる。</p> <p>③価値観ベースや本音ベースの会話が、心理的安全性を高めてくれることを理解できている。</p> <p>④生産性を高めるための仕組みの作り方や、管理者としてのあり方を理解できている。</p>				
テキスト	『世界最高のチーム』ピョートル・フェリクス・グジバチ, 朝日新聞出版, 2018年			
<b>テキストの読み方</b>				
<p>①6章構成になっており、それぞれの表題のキーワードが、第1章：ルール作り、第2章：もめごとへの対応、第3章：良質な会話の仕方、第4章：チーム時間の使い方、第5章：生産性をあげる方法、第6章：生産性をあげる仕組みづくりとなっている。それぞれのポイントをまとめるように読んでくると理解が進む。</p> <p>②心理的安全性が生産性向上にどう影響を与えるのか、その関係性を理解すべく読んでほしい。</p>				
<b>単位修得の方法</b>				
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>				